
【ソフト名】 ガントチャート
【登録名】 gantt200.zip
【Ver】 2.00
【著作権者】 Terrapy
【動作環境】 Windows7/8.1 , Excel2007/2010/2013
【製作月日】 2015/10/20
【ソフトウェア種別】 フリーウェア
【転載条件】 内容を変更しなければ可

◇はじめに

「ガントチャート」は Excel2007/2010/2013 で動作するガントチャート作成ソフトです。このソフトは、Excel のグラフ機能ではなく、オートシェイプを使ってガントチャートの横棒を描画しています。

本作品が皆さんのレポートやプレゼンテーションの作成にお役に立てれば幸いです。

◇ Excel マクロを動かすために◇

※ 本書では、マクロを使っています。Excel のマクロを初めて実行する方は、次の内容を確認してください。

1. マクロを実行できる状態でブックを開く

Excel の初期設定では、マクロを含むブックを開いただけではマクロを実行することができません。ここでは、マクロを実行できる状態でブックを開く方法について解説します。

◇ Excel2007

初期設定では、マクロを含むブックを開くと画面の左上部に警告のメッセージが表示されます。このとき、[オプション]ボタンをクリックし、[このコンテンツを有効にする(E)]を ON にして[OK]ボタンをクリックします。

◇ Excel2010/2013

初期設定では、マクロを含むブックを開くと画面の左上部に警告のメッセージが表示されます。このとき、[コンテンツの有効化]ボタンをクリックします。

2. 「開発」タブを表示する

Excel2007 ～ 2013 の初期設定ではマクロに関連する「開発」タブが非表示になっています。本書ではマクロを実行する方法としてショートカットキーを使っています。これからマクロを使う場合は、「開発」タブを次のように表示するとよいでしょう。

◇ Excel2007

- (1) [Office]ボタンをクリックし、[Excel のオプション(I)]ボタンをクリックします。
- (2) 「基本設定」をクリックし、[開発]タブをリボンに表示する(D)を ON にして[OK]ボタンをクリックします。

◇ Excel2010/2013

- (1) 「ファイル」タブをクリックし、[オプション]をクリックします。
- (2) 「リボンのユーザー設定」をクリックし、[リボンのユーザー設定(B)]で「メインタブ」を選択して[開発]を ON にし、[OK]ボタンをクリックします。

3. マクロの実行方法について

マクロは実行できる状態でマクロを含むブックを開いていますと、Excel のリボンから実行することができます。

◆マクロを実行する

ブックに含まれているマクロを実行するには、次のように操作します。

- (1) [開発]タブにある[マクロ]ボタンをクリックします。
- (2) 「マクロ」ダイアログボックスにある[マクロ名(M)]の一覧表から目的のマクロを選択し、[実行(R)]ボタンをクリックします。

◆エラーが発生した場合

マクロの実行時にエラーが発生した場合は[終了(E)]ボタンをクリックし、マクロの仕様通りの操作を行っているかを確認します。

◇自動機能の概要

本テンプレートには、3種類の自動機能を組み合わせています。

(1) ボタンを押して実行するマクロ

「罫線引き」… セル D3 と D4 を元にセル G4 の右下に日付と罫線を引く

罫線を引く範囲は、4行目からテーブルの行の範囲

「チャートクリア」… プロットしたバーのみをクリアする

(2) イベントドリブンのマクロ

6 行目以降の D・E 列に開始日と日数を入力すると、対応したバーをプロットする

逆に開始日と日数を削除すると、入力した行のバーをクリアする

(3) テーブルの自動拡張

5 行目以降の B ～ F 列を「テーブル」に設定している

この表の下に入力すると、F 列の数式や罫線などが自動的にコピーされる

	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	< スケジュール・進捗管理 >															
2																
3		開始日	2015/5/10	罫線引き												
4	テーブル	期間	30日													
5	色	項目	開始日	日数	終了日											
6	1	要求分析	5/12		5/11											
7	2	基本設計	5/15		5/14											
8	3	詳細設計	5/18		5/17											
9	4	プログラム	5/20		5/19											
10	5	単体テスト	5/22		5/21											
11	6	結合テスト	5/26		5/25											
12	7	データ移行	5/29		5/28											
13	8	最終テスト	6/1		5/31											

▼ 行ごとにバーをプロットする

	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	A				
1	< スケジュール・進捗管理 >																												ガントチャ			
2																																
3	開始日		2015/5/10		罫線引き						チャート クリア																					
4	期間		30日						10		11		12		13		14		15		16				25		26		27		28	
5	色	項目	開始日	日数	終了日					日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
6	1	要求分析	5/10	5	5/14	5/10			5						5/14		要求分析															
7	2	基本設計	5/15	6	5/20							5/15				6		5/20		基本設計												
8	3	詳細設計	5/18	7	5/24									5/18		7		5/24		詳細設計												
9	4	プログラム	5/20		5/19																											

▼ 行ごとにバーをプロットする

	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U
1	< スケジュール・進捗管理 >																			
2																				
3		開始日	2015/5/10	罫線引き																
4		期間	30日																	
5	色	項目	開始日	日数	終了日															
6	1	要求分析	5/12		5/10															
7	2	基本設計	5/13		5/11															
8	3	詳細設計	5/12		5/15															
9	4	プログラム	5/15		5/16															
10	5	単体テスト	5/11		5/13															
11	6	結合テスト	5/13		5/14															
12	7																			
13	8																			

◇使用法

□はじめに

「ガントチャート」はセルに必要な情報を入力するだけで、簡単にガントチャートを作成することができます。なお、「ガントチャート」はこのブックの「スケジュール」シートのみでマクロが機能します。

◇「ガントチャート」の起動

「ガントチャート」を起動するには、「ガントチャート」+バージョン番号のブックを開きます。

◇実行結果の確認

開いたブックの「スケジュール」シートが実行結果のサンプルです。ここでは、セル D3 と D4 の値から J 列以降の日付・曜日・罫線を表示し、B ～ E 列のデータから横棒・その両脇の日付・棒の中央の日数を表示します。このブックでは、セル D3 と D4、C ～ E 列のデータを変更すると、自動的に日付・罫線・横棒などを自動的に変更するため、日程が変更になっても簡単にガントチャートを変更できるので便利です。

まず、画面に表示されたコメントで入力する内容・順番・入力するセルを確認してください。コメントを非表示に設定するには、Excel のメニューバーから[表示(V)]→[コメント(C)]を選択します。

◇「ガントチャート」の操作

「ガントチャート」は、次のように操作します。なお、「使い方」シートに同じ内容を掲載しています。

1. チャートのマス目を設定する

① セル D3 にチャートの開始日を入力する

② セル D4 にチャートの期間を入力する

※ 2つを入力して[罫線引き]ボタンをクリックすると、チャートの日付や罫線のマス目を引きます。

2. 行ごとに各項目のデータを入力して、バーをプロットする

③ B 列に塗りつぶしを設定する

※行ごと B 列に設定されている色でバーが表示される

④ 各項目の開始日と日数を入力する

※ 開始日または日数を変更すると、自動的にバーが変更される

なお、バーの中に表示される数値は、日数を意味する

★ データを削除するには

- ・ テーブル内を選択して[Ctrl]+[t]キーを押すと、テーブルの3行目以降を削除します。
- ・ テーブル内の削除した行にあるセルを選択し、右クリックして[テーブルの行]を選択します。
- ・ すべてのバーをクリアするには、[チャートクリア] ボタンをクリックする。

★ 棒の色のみを変更するには

棒の色のみを変更するには、B 列の塗りつぶしを変更し、その行の C 列または E 列のセルをダブルクリックして編集状態にして[enter]キーを押します。この結果、C 列または E 列が変更された Excel が認識して、以前表示していた棒を削除して、新しく棒を作成するので、棒の色が変わります。

◇環境設定

「環境設定」シートにおいて、バーへの項目名の表示と、バーの枠線の色や太さを設定することができます。

項目名の表示は、セル B3 で「なし、バー内側-左、バー内側-右、終了日-右」の4つから選択します。この表示例は、ワークシート上に画像で配置していますので、参照してください。

セル C12 付近にある「環境」の四角形の枠線の書式を変更することで、プロットするバーの枠線の色や太さを変更することができます。

◇変更履歴

Ver1.02:新規公開

Ver2.00:Excel2007/2010/2013 に対応

- ・罫線引きをボタンで実行する
- ・データ表をテーブルにして、データ拡張に自動対応
- ・項目名の自動表示
- ・行ごとのバーの削除

◇著作権

「ガントチャート」はフリーウェアです。

本ソフトウェアに関する著作権は Terrapy にあります。

◇免責

本ソフトウェアを使用することにより生じたいかなる損害に対しても、著作権者は一切その責任を負いません。

感想やバグ発見などがあればこちらまで

URL <http://excelcharts.biz/>

MAIL contact@excelcharts.biz

Vector の作者紹介ページ URL

<http://www.vector.co.jp/vpack/browse/person/an045330.html>

モザイク図「MosaicPlot」の最新版

ダウンロード先: <http://excelcharts.biz/>

◇その他◇

なお、私の Web サイトでは、グラフのテクニック・Vector に UPLOAD 前の新作・登録前の更新ソフトウェアをいち速くダウンロードできます。

<http://excelcharts.biz/>

[illegible]

制作環境 Windows8.1,Office2013

HP <http://excelcharts.biz/>

Mail contact@excelcharts.biz

Vector 紹介 <http://www.vector.co.jp/vpack/browse/person/an045330.html>